

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ミュージックリテラシー 2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	ビジネス文書の基本能力検定 3 級テキスト				
担当教員情報					
担当教員	白石 美香		実務経験の有無・職種	有・マナー講師	
学習目的					
社会人として信頼関係を築くために必要なビジネスマナーやビジネス常識を、講義形式で習得していく。身だしなみ・電話応対・来客応対などの基本動作や言葉遣いを、ロールプレイングやグループワークにより体験的に学ぶことで、「わかる」から「できる」、さらには「身につく」ようにする。学校の卒業要件ともなっているビジネス能力検定ジョブパス 3 級の合格を目指しながら一般常識を身に付け、社会に出て活躍できるよう、マナーや身だしなみの大切さを伝えていく。受け身の講義とならぬよう、学んだことを「実践する」ことに重点を置き、学生が抱いた疑問はその講義内で解決し次回に持ち越さない。各講義で学んだことが明日突然実践することになるかも知れないということを伝えながら、社会人の基本的な礼儀作法を習得する。					
到達目標					
1. 「できる」ことから「身につく」ことを目指し、就職で勝つためのマナーとコミュニケーション能力を身につける。 2. ビジネス能力検定ジョブパス 3 級合格を目指し、将来の職業人として必要な知識と意識を習得する。 学生ひとりひとりが自信を持って社会へ進出できるようビジネスの基本となるマナーや礼儀作法を習得する。この講義で学んだ事を活かし、堂々とした立ち居振る舞いが出来るよう、企業に受け入れられる所作を学び、これから迎えるインターンシップや就職面接で良い印象を与えられるようになる。また卒業要件ともなっているビジネス能力検定ジョブパス 3 級合格を到達目標としつつ、内容の重要性を理解していく。					
教育方法等					
授業概要	マナーの五原則（身だしなみ・挨拶・態度・表情・言葉遣い）についてロールプレイングやグループワークを中心に体験的に学ぶ。礼儀作法は何のために身に付けなくてはならないのか、それを身に付けたことにより社会でどのような認知をされるのかなど、学ぶための動機をひとつひとつ明らかにしながら講義を展開していく。また12月実施のビジネス能力検定 3 級合格を目指して、社会人として必要な知識と意識を習得し、ビジネス能力検定が社会でどのように認識されているかを理解し、意欲的に合格を目指すようその大切さを伝えていく。				
注意点	授業中の携帯電話の操作、飲食、居眠り、私語は禁止する。 また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができないため注意すること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	ビジネス能力検定 3 級取得と、定期試験によって評価		
	小テスト	10%	講義の理解度を図るため実施、採点結果に応じて評価		
	レポート	10%	理解したことを文字にすることで理解度を高め、その内容に応じて評価		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業内に行われるロールプレイング、グループワークによって評価		
	平常点	10%	授業態度（取り組み姿勢・挨拶・返事など）によって評価		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		マナーの五原則について理解し、ロールプレイングを通してお辞儀のポイントを習得する		
2回	気持ちのいい挨拶とは		挨拶をする上で重要なポイントを学ぶ。ロールプレイングにより礼の仕方も習得する		
3回	礼儀・マナーとは		なぜマナーを大切にするのか、なぜ礼儀作法は必要なのか、紐解きながら習得する		
4回	「任される」ことの責任		社会にはあらゆる責任が課せられており、社会人として大切な仕事に対する意識を伝える		
5回	仕事の基本となる 8 つの意識		キャリアと仕事へのアプローチ、仕事の基本となる 8 つの意識、コミュニケーションとビジネスマナーの基本を理解する		
6回	指示の受け方と報告・連絡・相談		指示の受け方と報告・連絡・相談、話し方と聞き方のポイントについて理解する		
7回	来客応対と訪問のマナー		来客応対と訪問のマナー、会社関係での付き合いについて理解する		
8回	ビジネス文書の基本		仕事への取り組み方、ビジネス文書の基本について理解する		
9回	電話応対、統計・データの読み方		電話応対、統計・データの読み方・まとめ方を理解する		
10回	情報収集とメディアの活用		情報収集とメディアの活用、経済の基本構造と変化について理解する		
11回	B検 過去問題演習 1		過去問題の実施、解説により出題傾向と対策を理解する		
12回	B検 過去問題演習 2		過去問題の実施、解説により出題傾向と対策を理解する		
13回	就職活動対策 1		スピーチトレーニング（ホールパート法・ブレップ法・姿勢・歩き方）		
14回	就職活動対策 2		集団面接ロールプレイング		
15回	総評		全体のまとめ		